



学校名：相模原市立青根小学校
児童数：7名



県下唯一の木造校舎

相模原市立青根小学校は、神奈川県の西北端、標高400mの丹沢山麓に位置し、人口600名足らずの山間部の狭い地域の中にあります。明治6年開校で今年創立141年。県内唯一の現在の木造校舎は昭和18年、地元の山から松、檜を切り出し、地元の大工さんたちによって建てられたものです。現在は少子高齢化が進み、児童数7名(内複式学級が2つ)と小規模な学校のため、平成17年に小・中学校合同PTA発足。2年後には、地域の育成会も含め、呼名を「青根地域のこどもと保護者と先生の会」と改め、現在に至っています。小中合同といっても現在家庭数10、先生を入れても会員数30に満たない、小さな小さなPTAです。とはいえ、PTA活動は、委員会も2つしかありませんが、他校に劣らず全員が何かしらの役割を持ち、広報紙「青々」も年2回発行、すべての行事は全員参加、お父さん、お母さん、祖父母、地域の方々とともに子どもたちのため、地域全体で活動しています。

PTAOBも「青根っ子祭」、月一度の朝の読み聞かせ等々、いろいろなかたちで協力してくれます。特に、運動会は地域の体育祭と小・中学校の「青根大運動会」として開催されますが、PTAも準備の段階から実行委員として参加し、学校・PTA・地域が協力する、一大イベントになっています。

児童数、生徒数はますます減少し、PTA会員数も激減するなかで、子どもたちのためにどうしたらよいのか、どうすることが賢明なのか、つねに念頭におきながら、学校・地域の協力を得ながら日々頑張っています。青根地域のこどもと保護者と先生の会
青根小・中PTA会長 井上智代美



学校名：山北町立三保小学校
児童数：20名

「地域で創るPTA」

神奈川県の外れにある西丹沢の山々に囲まれ自然豊かな小学校です。今年の4月に3校が統合し、中学校は閉校となりました。PTAの会員数も減少し、今では16世帯の会員へとなくなりました。PTAの活動をして行く中でまずは委員会の組織づくりから始めました。本部役員を5人から4人へ減少し、2つの委員会を1つにまとめました。運営委員会の組織も今年では、委員会正副委員長だけが出席していましたが、今年からは全員参加型の運営委員会へと変更しました。そこで今年から会長テーマを掲げPTA活動に取り組む体制を作りました。PTA内部テーマは「みんなで創るPTA」、外部テーマには地域に発信「地域で創るPTA」とし、内部は会員全員で協力し外部は地域の皆さんで協力して創り上げるPTAとしました。まず、問題が発生したのが、プール清掃です。今までは中学生が中心となり行っていたのですが、小さ

な小学生だけではできません。そこでボランティアを募り地域一丸となつてのプール清掃



地域一丸となつてのプール清掃

ほとんどの児童や先生方が参加し、会員や地域の方々も協力し暑い中きれいなプールを見た児童の嬉しそうな笑顔が今でも忘れることができません。又運動会も前日準備から当日も地域の方々を始め会員、児童、先生と協力し大成功に終わる事が出来ました。まだまだ沢山の課題が残されています。これからは大規模校には負けない、小規模校の意地「三保っ子魂」を見せてまいります。

この写真は、今年初めて地域の方々、児童、先生、PTA会員で行ったプール清掃時の写真です。



学校名：箱根町立仙石原小学校
児童数：119名



子どもと一緒に美化清掃

動会の開催を例にあげてみます。私たち運営委員が校庭整備の日程を決めるのですが、その設定した日より前から先生方や保護者が、時には自前の機材(草刈り機、剪定鋏等)を持ち込んで、校庭、学校周辺の草を刈り、グラウンドの石を拾ってくれます。校庭整備当日も決められている終了時間が過ぎても、作業を続けてくれる方々がいます。運動会当日のPTA競技にも驚くほどたくさんの保護者が参加してくださいます。そして、終了後、先生方は総出で、多数の保護者も片付けを自主的に手伝ってくれるのです。このように、仙石原小学校PTAは、少人数ながらも、先生方、保護者が一丸となって精一杯取り組んでおります。



学校名：厚木市立相川小学校
児童数：178名



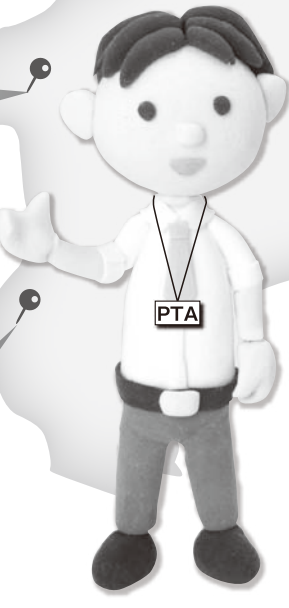
親子ふれあいフェスティバルの様子

相川小学校は、厚木市の北部相模川の畔にあり、厚木市内では小規模校です。

私たちPTAが力を入れているのは、各委員会の皆さんがいかに活動しやすい環境をつくるかという事です。男性も参加しやすいするため、今年度は「親父会」を発足し草刈りや運動会で、活躍しました。お父さんの力を発揮する「親父会」、子どもたちに読み聞かせをする「おはなし屋さん」、花壇などの美化整備をする「おたすけ隊」が、常設委員会とは別にあります。また、相川小学校では今年度、土曜授業があるため、私たち保護者も積極的に参加して、河川敷のゴミ拾いなどをやったり、地域の方々と一緒になって環境整備や、子どもたちの見守りをする事により、地域コミュニティーの輪が確実に広がっています。

もう一つの特徴として、私たち相川小PTAは、学校と共に「相川交流プロジェクト」を支援しています。この団体は、東日本大震災で被害にあった宮城県石巻

学校ごとに規模も会則も違う！



みんな違って
みんないい!!!



学校名：平塚市立花水小学校
児童数：1,015名(4月1日時点)

私たちの学校は、海の近くの住宅街にあり、校舎の4階からは相模湾をのぞむことができます。児童数は1,015名(4月1日時点)で県内でも有数の大きな学校です。

PTAでは、「夢のゆりかご花水小学校」をスローガンに掲げ、本部役員や各委員会(学年・地区・成人・厚生・広報・ふれあい)だけではなく、約800世帯全員が参加する1家庭1役のサポーター制度を行っています。年度始めにサポーター登録希望アンケートを配付、集計したものを振り分けて、活動がスタートします。

登校時の児童の横断を見守る旗振りサポーター、自宅でベルマークの整理をするサポーター、教室のカーテンやトイレの入りのれんを自宅で洗うサポーター、昇降口や手洗い場の清掃、年度末の清掃など児童だけでは行き届かない所を手伝う

クリーンサポーター、運動会やふれあい行事、公民館祭りなど行事を手伝うサポーター。また、湘南平塚七夕祭りに出品する竹飾りの製作を手伝うサポーターは、我が校ならではと言えるでしょうか…。児童のデザインを元に飾りを考え、児童全員が願い事を書いた短冊をはり、みんなで作り上げた竹飾りは、今年の市民祭りの部で1位になりました。

このほか、図書整備ボランティア、地域の方々も加わっての読み聞かせボランティアや登下校時の見守りボランティアもあります。3D~できる人が、できる時に、できることを～を大切に、会員同士の交流をはかりながら、「子どもたちと学校の応援団」として活動しています。



平塚七夕祭りの竹飾り製作



学校名：相模原市立旭中学校
生徒数：929名
(平成26年4月7日現在)

子どもたちの明日へ、こころをひとつに

当校は、相模原市の北、橋本駅を中心としたエリアの子どもたちが通う中学校です。

900名を超す在校生数でもあり、PTAは、本部、部活・地区・成人教育・広報・1、2、3学年の7つの委員会に加え、校内緑化推進を行う花壇ボランティア、父親参加のおやし隊など、約200名の父兄の方にご協力頂いています。

各委員会は、委員長、副委員長を中心に活動いただき、年7回の運営委員会にて各委員会の活動内容の共有、及び、配布物などの承認が必要な事項の審議を行うことにより円滑な運営を図っています。

また、本部では、これら各委員会の支援に加え、PTA主催事業や生き方講話(外部講師による講演会)などの協賛事業の企画運営、旭友祭(体育祭・合唱コンクールの総称)などの学校行事支援を行っています。加えて、PTA総会で指名され



先生・保護者の合同合唱

当日の懇親会を含め、年数回の懇親会を企画し、秋には委員会対抗のビーチバレーボール大会を開催するなど、委員さんたちの懇親を図っています。

また、今年度は、本PTAのスローガンとして、「子どもたちの明日へ、こころをひとつに」のスローガンのもと、父兄と先生でのあいさつ運動を、各学期に3回ずつ企画するとともに、夏休みには、部活動単位で、先生方、生徒と父兄とが一緒になって校内の環境整備を行いました。更に、旭友祭文化部門(合唱コンクール)では、先生方、PTA合同での合唱を行うなど、子どもたち、先生、PTAそして父兄がひとつになった活動を推進しています。



学校名：大和市立北大和小学校
児童数：1,096名

本校は、大和市の北部に位置し、昭和23年12月に大和小学校北分教場から独立し誕生しました。

近くを東急田園都市線や小田急江ノ島線が走り、交通の便に恵まれているので、現在も戸建やマンション建設が進んでおり、児童数は若干の増減を繰り返しながら増加傾向にあります。

過大規模校としての悩みは多々ありますが、1,000人を超える子どもたちは、運動会での団体演技や学年の学習発表会で、一人一人が自分の役割をしっかりと果たし、とても迫力のある素晴らしい演技や学習の成果を披露しています。

PTAの組織としては、本部役員の他に常任委員会として、学年委員会、文化委員会、広報委員会、校外生活指導委員会があり、他に、役員候補者推薦委員会と特別委員会のバレーボール実行委員会があります。

各委員会は年間の事業計画を基に精力的に活動しており、PTA主催の行事の一つとして、今年で14回目を迎える



北小カルチャークラブの様子

「北小カルチャークラブ」があります。これは、保護者、教職員、地域の方等様々な方が講師となり、11月の土曜日に行っているもので、子どもたちは希望する講座へ事前に申し込み、普段とは違った体験ができます。昨年は「竹とんぼを作って遊ぼう」や「モーター製作」等の25の講座に764名が参加しました。今年は、29の講座に774名が申し込み、11月29日に行われました。

現在本部役員は、会長1名、副会長2名、会計1名、書記2名の6名体制ですが、児童数の多さに対処し会計の負担を減らすために、会計を2名とし7名体制にする予定で検討を進めています。

校長 前田 良行



学校名：三浦市立剣崎小学校
児童数：85名

・学校の紹介

剣崎小学校は、校舎の目前に太平洋が広がる自然豊かな地域にあり、児童の家庭の多くは、農業・漁業に携わっている。全児童数は、85名と小規模校だが、学年間の隔たりなく異学年の交流もあり、アットホームで暖かい雰囲気がある。

・PTA委員会

運営委員会は、三役(会長1、副会長3、会計1)校長、教頭、事務局、各委員会の正副委員長をもって構成され、会長が招集する。活動内容は、規約に定めるものの他、役員の権限以外の事務を処理したり、常任委員会の連絡調整・総会に提案する議題の協議をしたりしている。

常任委員会は、学年成人委員会・広報委員会・地区委員会の3つがある。

学年成人委員会は、学年・学校の運営等に協力し、学年間の調整を図るとともに、会員の教養を高め親睦を深めるために企画をたてて研修旅行や給食試食会などを実施している。また、ベルマーク収集に関する活動を行っている。

広報委員会は、広報誌「剣崎」を年4回発行し、地区委員会は、登下校時の交通指導・見守り活動及び通学路の点検など、地域の児童の安全に関わる活動を中心に行っている。



ソフトバレーボール大会

・アピールポイント

会員間の親睦を深めるためにソフトバレーボール大会やトッショール大会などを実施するとともに、市P連主催のソフトバレーボール大会への参加を積極的に取り組んでいる。また、除草作業で草刈機を家から持参するなど、学校環境の整備にも努めている。

・役員の決め方

三役は、役員選挙管理委員が中心となり、立候補者を募り、立候補がない時は、役員選挙委員会が学区内の4地区から選出されるように、候補を絞り本人に依頼する。地区委員は、各地区で、広報・学年成人委員は、各学級から選出している。

・苦勞していること

世帯数が減少しているため校外の研修への参加が、人数的に厳しくなっている。また、委員の定員を減らす措置をしているが、委員を何年も受けざるを得ない方が出ている。